

計画事業番号	00137	事務事業名	介護従事者フォローアップ研修事業	担当部署	保健福祉部 高齢者支援課	電話	2163
--------	-------	-------	------------------	------	-----------------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	介護保険法第23条、第24条及び第78条の7			
事務事業開始年度	平成11年度		個別計画等	高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	特別会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章) 支えあい健やかに暮らせるまち	
	(第 5 節) 高齢者福祉・介護の充実	
	(施策 3) 介護サービスの充実	
2 対象	市内の指定居宅介護支援事業所・指定居宅サービス事業所・介護保険施設の職員等	
3 目的と内容	介護保険制度の円滑な運営のための体制づくり、地域の支え合い、住みよい地域づくりを目指し、介護サービスに関わる事業者や介護施設等が相互に連携し、サービス内容の充実、従業者の資質の向上を図るため、市内の介護サービス事業所等の85%が加入する「北広島市介護サービス連絡協議会」が実施する研修会の講師料等を負担する。	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	北広島市介護サービス連絡協議会への支援として、 ① 各部会へ出席し、行政からの情報提供、介護サービスにおける課題や実態を把握し、必要に応じた助言を行う。 ② 研修会等を共催し、講師謝礼の一部を負担する。
	29年度	昨年度と同様であるが、北広島市介護サービス連絡協議会への支援として、 ① 各部会へ出席し、行政からの情報提供、介護サービスにおける課題や実態を把握し、必要に応じた助言を行う。 ② 研修会等を共催し、講師謝礼の一部を負担する。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
介護サービス連絡協議会の研修等への講師料を負担	研修会開催回数:16回 うち共催回数 :16回	介護サービス連絡協議会の研修等への講師料を負担	介護サービス連絡協議会の研修等への講師料を負担	介護サービス連絡協議会の研修等への講師料を負担

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	現状継続とする。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			250		250		250		250	
事業額	直接事業費	国支出金	97		97		97		97	
		道支出金	48		48		48		48	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	48		48		48		48	
		一般財源	57		57		57		57	
		① 合計	250		250		250		250	
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	840	0	840	0	840	0	840	0	
総事業費①+④			1,090		1,090		1,090		1,090	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①介護サービス事業所	目標値	か所	85	85	85	85
		実績値		102			
	②介護サービス連絡協議会加入事業所	目標値	か所	85	85	85	85
		実績値		87			
③介護サービス連絡協議会研修回数	目標値	回	12	12	12	12	
	実績値		16				
成果指標	①介護サービス連絡協議会加入事業所	目標値	%	100	100	100	100
		【指標の定義(算式等)】	実績値		85.29		
	②	目標値					
		【指標の定義(算式等)】	実績値				
	③	目標値					
		【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	介護従事者のスキルの向上は、利用者である市民にとって有益であるため、妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	市内の介護事業所の多くが加盟する介護サービス連絡協議会が連携し、相互に情報交換がなされている。また、研修への参加により、介護従事者のスキルアップが図られている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	地域に密着した介護事業所が求められている中で、研修等の費用負担が困難な小規模な事業所にも一定の受講機会が確保されている。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	介護サービス連絡協議会が、市内の介護サービス事業所の意向を確認したうえで、講演内容や講師を選択、依頼しており、既に市の負担は必要最小限に抑えられている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。	